

北陸新幹線の整備促進について

北陸新幹線は、首都圏と関西圏を日本海側経由でネットワーク、東海道新幹線の代替機能を持ち、沿線人口の集積、鉄道需要も大きく、国土計画上「合理的にも優先して整備すべき路線」です。

また、本県の国のエネルギー政策に対する大きな貢献を踏まえ、「新幹線をはじめとする地域振興」について、政府全体としてしっかり対応するとされており、新しい内閣においても、引き続き、着実に実行・実現されなければなりません。

整備新幹線問題検討会議において、北陸新幹線は、敦賀以西の整備のあり方が課題として示されているが、地元として障害となる課題はなく、沿線のまちづくりへの影響、北陸3県の地域格差など、交通結節点である「敦賀まで」の整備は合理的であり、認可を急ぐべきです。

については、政府の整備新幹線問題検討会議および調整会議において、新規着工区間の決定に向けた実質的な検討を進め、**年末を待つことなく、敦賀まで(白山総合車両基地～敦賀間)の認可決定について要望します。**

平成22年10月20日

福井県北陸新幹線建設促進同盟会